

### 第33 回日本植物細胞分子生物学会（東京）大会・ベストポスター賞の発表

第33 回日本植物細胞分子生物学会（東京）大会・シンポジウムベストポスター賞が下記 5 課題に決定されました。

本大会でも昨年度大会につづき、学生会員の発表をエンカレッジする目的で大会事務局がベストポスター賞を企画いたしました。審査員が全ての対象課題を審査できるポスター発表を選考対象とし、特に学生会員が発表者となっているポスターとして35 課題を抽出しました。審査員は大会に参加した会長、幹事長、編集委員長と、評議員37 名の合計40 名とし、各審査員5 票以内で選考していただき、記名投票（大会本部で投票）をお願いしました。

開票状況は下記の通りです。

開票日時：2015年8月12日

開票場所：東京大学大学院農学生命科学研究科内

開票者：寺田珠実（学会員）、吉田薫（学会員）

開票立会人：有村慎一（学会員）、山川隆（学会員）

投票総数：33 人

投票課題数：162 票

有効票数：162 票

無効投票数：0 票

### 第33 回日本植物細胞分子生物学会（東京）大会・ベストポスター賞 受賞課題 （ポスター番号順、○が受賞者）

<P-15>

ニンニクのアリイン生合成に関与する新規 *S*-酸化酵素遺伝子の単離

Identification of a novel gene encoding *S*-oxygenation enzyme involved in alliin biosynthesis in garlic.

○ 森 直子<sup>1</sup>, 吉本 尚子<sup>1</sup>, 小沼 美沙都<sup>1</sup>, 鈴木 秀幸<sup>2</sup>, 小寺 幸広<sup>3</sup>, 恒吉 唯充<sup>3</sup>, 斉藤 和季<sup>1</sup>

<sup>1</sup>千葉大院・薬, <sup>2</sup>かずさDNA研究所, <sup>3</sup>湧永製薬

<P-28>

イネにおけるイノシトール合成活性化による種子重増加機構の解明

The mechanism of an increase in rice grain weight through the activation of inositol synthesis.

○塩崎 麻由, 栗飯原 ひとみ, 楠田 弘毅, 吉田 薫

東大院・農学生命科学

<P-59>

ミトコンドリア外膜および外膜に由来する構造の蛍光ライブイメージング

Live imaging of mitochondrial outer membrane and the membrane derived structures.

○山下 晃弘, 藤本 優, 片山 健太, 堤 伸浩, 有村 慎一

東大院・農学生命科学

<P-61>

CRISPRiによるDNA ligase IV 遺伝子をノックダウンしたイネの作出

DNA ligase IV gene knock down by using CRISPRi in rice.

○三上 雅史<sup>1,2</sup>, 遠藤 真咲<sup>2</sup>, 土岐 精一<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>横浜市大院・生命ナノ, <sup>2</sup>生物研・ゲノム機能, <sup>3</sup>横浜市大・木原生研

<P-77>

塩ストレスがシロイヌナズナアクアポリンのエンドサイトーシスに及ぼす影響

Analysis of the salt stress effects on the aquaporin endocytosis in *Arabidopsis thaliana*.

○上田 真道<sup>1</sup>, 藤本 優<sup>1</sup>, 藤原 正幸<sup>2,3</sup>, 深尾 陽一郎<sup>2,4</sup>, 堤 伸浩<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東大院・農学生命科学, <sup>2</sup>奈良先端大・バイオ・植物グローバル, <sup>3</sup>慶應大・先端研, <sup>4</sup>立命館大・生命科学

ベストポスター賞を受賞された方々、まことにめでとうございます。今後の更なる研究の発展に期待いたします。後日、事務局から賞状を送付いたします。

第 33 回日本植物細胞分子生物学会（東京）大会・シンポジウム事務局